

「柏崎刈羽原発の再稼働認めない」

—1月5日 東電首脳に米山知事キツパリ伝える—

再稼働ノリノりの県民世論で 米山知事を支えよう

2017年は、福島第一原発事故から6年となる年。未だ8万人を超える人たちがふるさとに帰れないでいます。放射能汚染水の海へのたれ流しが続き、炉心溶融の状況把握や廃炉への道筋等も極めて困難な状況です。

しかし政府と電力会社は再稼働推進、原発輸出、40年超の老朽化した原発の運転延長を認めるなど、福島事故がなかったかのように原発依存・推進に前のめりの姿勢を強めています。

原発問題では、「ことし最大の焦点は、原子力規制委員会による柏崎刈羽原発6、7号機の新規制基準への適合性審査」（1月4日付新潟日報）と言われており、柏崎刈羽原発の再稼働反対の運動を大きく広げることが一層重要になっていきます。

重要な意義をもった

5日の東電との会談

東電首脳と会談した米山知事は改めて、①福島原発事故の原因 ②事故が健康

と生活に及ぼす影響 ③安全な避難方法—の3点の検証が必要だと強調し、「現状では再稼働は認められない」と直接東電首脳に伝えました。

会談ではいくつかやりとりがありました。会談終了後に報道陣の取材に応じた数士会長は「米山知事が指摘する検証が終わるまで柏崎刈羽原発の再稼働はしないのかと問われ、『それは経営者として覚悟していかなければいけない』と明言した」（1月6日付新潟日報）と言います。これは非常に重い意味をもちます。

県民世論の一翼を担う

原発ゼロ長岡市民ネットの

活動を大きく広げましょう

米山知事の柏崎刈羽原発に対する態度は明快です。この立場を貫き通す上で、県民世論と運動の広がりがかギを握っています。原発ゼロ長岡市民ネットはその一翼を担い、力を合わせて今年も講演会やパレードの実施、長岡市議会・市政への働きかけ、他団体との共同の取り組みなどを進めます。その中で会員の輪も大きく広げましょう。



東電福島第1原発の過酷事故から6年 「福島を忘れない 3・12市民のつどい」

☆とき 2017年3月12日(日)
13:30~15:30

☆ところ 長岡商工会議所大ホール

☆講師 立石雅昭さん

◇新潟大学名誉教授(地質学)

◇新潟県「原子力発電所の安全管理に関する 技術委員会」委員

◇「豆腐の上の原発」を動かしてはならない」著者
※福島から避難している方のお話も予定しています。

*詳細は次号で。お誘いあわせてご参加を！

さりげなく注目集める

「原発からの距離プレート」



関原町・Sさん宅
外玄関の硝子に



寿町・Hさん宅
玄関右側のポスト脇

左近町・Fさん宅
インターホーン下



曲新町・Sさん宅
玄関のドア



◆2月の街頭行動 2月11日(土) 12:00~13:00 アオーレ前 ご参加を！◆

原発ゼロ長岡市民ネットニュース

第62号 2017年1月15日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿 2-5-15

電話・FAX 24-2870

矢引 090-3063-6365 佐藤 090-4925-3707